

# 櫛形北小だより



本校HP

学校教育目標「ゆたかな心もち たくましく生きる」

<http://www.kita.m-alps.ed.jp/>

今年、櫛形北小は創立60周年

発行：校長室 2018. 7. 23 (No. 4)

## 明日から夏休み 「小さな習慣」を大切に

ここ10日間ほどは、猛烈な暑さでした。学校では熱中症計を用いて暑さ指数(WBGT)を調べ、「外遊び禁止」「外遊びをしてもよいが激しい運動は禁止」等の判断をして、子どもたちの健康管理をしてきました。明日からは夏休みです。まだこの暑さはしばらく続くようです。ご家庭でも熱中症への注意をぜひよろしくお願ひします。

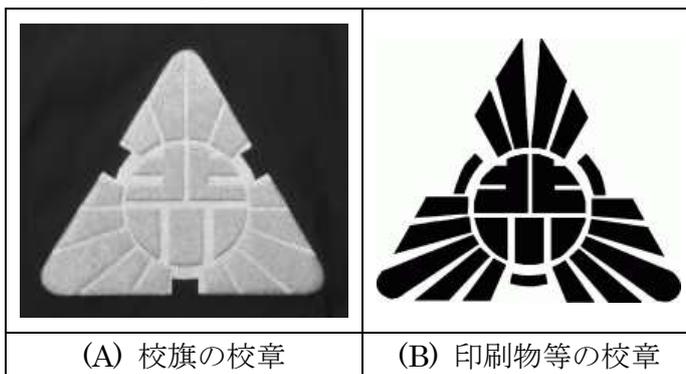
31日間の夏休みが始まります。子どもたちには、この夏休みにはこれをする！という目標をたてて、そのための日々の行動・努力(小さな習慣)を続けていってほしいと願っています。内藤多伸先生の言葉「積み重ね つみ重ねても またつみかさね」に通じることだ、と思います。



7/17~18 櫛形中生による母校でのあいさつ運動

## 創立60年目のミステリー 校章はどれが正しい？

そのことに気づいたのは、昨年度の卒業式の頃でした。卒業式では体育館に校旗を飾りますが、校旗に刺繍された校章のデザインと、学校で印刷物に使用している校章のデザインが違うことに気づいたのです。



2つの校章を比べると、大きく違う点が4つあります。

違い1 (A)(B)どちらも全体が三角形だが、(A)の方は3つの頂点が丸みを帯びているのに対して、(B)の方は真上の頂点だけはとがって裂けたようになっている。

違い2 (A)(B)どちらも中心から外側に放射状に白い細い線が伸びているが、(A)の方は幅の変わらない細い線が伸びているのに対し、

(B)の方は外側に行くほど白い線の幅が広がっている。

違い3 中心の「北小」部分が作っている円形の大きさが、三角形全体の中で占める割合が、(A)の方は大きく、(B)の方は小さい。

違い4 「北」という漢字で、文字の線の部分と地の部分の割合が、(A)は地が大きく、(B)は地が小さい。((B)の「北」の字の方が線が太い)

以上の4つです。一見すると同じように見えますが、よく見るとデザインとして(A)(B)は別のもので、どうしてデザインの違う校章が存在するのか、時間がとれるときに調べてきました。

校旗については、現在のものは2代目の校旗で、平成22年12月に新調されたものです。学校創立の時に作られた初代の校旗をもとに2代目の校旗は作られたということで、初代の校旗にも同

じ校章があったことが、写真に残っています。また、校舎の児童玄関および運動場のアーチについている校章は、校旗をもとにしているもので、それと同じです。

一方、(B)の校章は、校長室に保存されているものでは、1967年の卒業アルバムの表紙に載っています。それ以前の卒業アルバムが見つかっていないため、いつから(B)の校章が使われ始めたのかはわかりません。

校長室の金庫の中をひととおり調べてみると、学校創立時に校章を決めるための募集要項は残っていましたが、応募作や選考過程、最終的に決定した作品や決定理由については資料が残っていませんでした。どこか他に資料が眠っているのかも知れませんが、まだ発見できていません。

校旗にまでなっているのだから、本当の校章は(A)の方だろうと思い始めていたら、ある方が「広報くしがた」に校章の記事が出ていると情報をくださいました。「広報くしがた」というのは、南アルプス市として合併する前の橿形町より出されていた広報誌です。その昭和35年6月20日発行号に、次のような記事が載っていました（縮刷版による）。この「広報くしがた」の記事の校章を(C)とすることにします。



学校の記録によると、校歌・校章・校旗は昭和35年3月20日に制定されたということです。その記事が、6月の広報に掲載されたこととなります。

この記事に載っている校章(C)は、(A)とも(B)とも若干違います。これでいくと、校章として3種類が存在していることとなります。

この3種類の校章について簡単にまとめると、次のようになります。

ます。

校章(A)	校章(B)	校章(C)
現在の校旗（2代目）で使用されている。学校創立時の校旗（初代）でも同じ校章が使用されていることは古い写真で確認できる。	1967年（昭和42年）の卒業アルバムの表紙に登場。1967年（昭和42年）以前に使われていたかは、今のところ確認できない。	1960年（昭和35年）6月20日発行の「広報くしがた」で、校章に決まったことが記事として載っている

校章(A)と(C)は、学校創立の時に使われていることはわかったのですが、ではなぜこの2つはデザインが違うのか、ということも大きい疑問です。

さらに困ることは、これが原典である、という資料がないため、この3種類の校章から、さらに少しずつ違うデザインのもので派生してきていて、これから先も、そういう心配があることです。

そこで、橿形北小学校の校章についてデザインを確定するための検討をこれからしていきたいと考えています。奇しくも今年には創立60周年を迎えた年で、何か不思議な気持ちになります。

さしあたって、夏季休業を利用して、校長室や職員室に資料が眠っていないか、確認をしてみたいと思います。

お願いします。皆様のご家庭に、校章が写った古い写真や、校章が印刷された古いもの、校章についての資料等が保存されていたら、校長までぜひご連絡をいただけますと幸いです。